



「としまグリーンウェイブ」活動で木を育てています

区より配布した苗木の生長を見せていただきました

豊島区をもっと緑豊かなまちにするため、「グリーンとしま」再生プロジェクトの一環として「いのちの森」の苗木を配布し、育てていただく活動を行なっています。苗木をご自宅の庭に植えている内山さんに参加してみでの感想など、お話をお伺いしました。

2年前に造園した自宅の庭にいろいろな植物を植え、植物との暮らしを楽しんでいます。

手はかかりますが、子供の頃から植物が好きなので自分で工夫し、時にはプロの手をお借りしながら庭を育てています。チューリップやアジサイ、クリスマスローズといった季節の花を植えるなど、四季を通じて植物を楽しんでいます。

植物やガーデニングに関する情報収集を日頃からしている中で「としまグリーンウェイブ」の活動で苗木をいただけることを知り、是非うちでも育てたいと思い参加しました。



ご自宅の庭にて



センリョウが赤い実をつけました



苗木から生長しているジンチョウゲ

いままでに2回参加し、ヤマザクラ・ナンテン・ジンチョウゲなど5種類の苗木をいただき花壇の一角に植樹しました。どの植物もすくすくと生長しており、季節ごとに庭を彩ってくれています。

周辺の環境は年々変化していきますが、自分たちのペースで庭づくりや植物を楽しんでいきたいです。

としまグリーンウェイブとは？

植樹や樹木の手入れ・樹木とふれあうイベント等を行い、生物多様性を理解するきっかけとする活動です。この活動が広がっていく様子を「みどりの波(グリーンウェイブ)」と表現しています。豊島区では、3月1日～6月15日を「としまグリーンウェイブ期間」として、植樹により広がった「みどりの波」をさらに広げるための苗木の配布や「いのちの森」の育樹活動などのイベントを開催しています。

SDGs目標15について「陸の豊かさを守ろう」

生態系を守るため、できることを考えていきましょう

陸の豊かさ、と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？

そのひとつは、「植物や動物が生き生きと暮らせる環境」ではないでしょうか。

国際自然保護連合のレッドリストでは、両生類の41%、針葉樹の34%、哺乳類の26%、鳥類の14%が絶滅の危機に瀕していると、* 生きものの住みかの一つである森林も減少しています。森林は生態系の保全だけでなく温暖化も緩和します。温暖化による気候変動は干ばつや豪雨が増えるなど様々な問題も起こしています。

未来の私たちが「陸の豊かさ」を感じながら暮らすために、今、一人ひとりができることを考える必要があります。

豊島区では「グリーンとしま」再生プロジェクトとして区内

- に緑を増やす活動を行なっています。この植樹活動によって生まれた森は、昆虫や鳥など生きものの住みかになっており、生態系を守ることにつながっています。また、区内生態調査「としま生きものさがし」や自然観察会など自然を感じられるイベントも行っています。
- 生態系を守るのは大きな森林だけではありません。私たち一人ひとりが庭やプランターで木を育てることで、生きものの住みかをつくることはできます。
- まずは、身近な自然を大切に育んでみましょう。

*国際連合広報センター 持続可能な開発目標 (SDGs) 報告 2021 より
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/



◆ ご意見・ご感想・エコ情報をお待ちしております ◆

はがき、メール、FAXのいずれかで、住所・氏名・年齢・電話番号・アンケートの答えの他「ご意見・ご感想、エコのわで取り上げて欲しい人や場所、企業、エコに関する情報」などを明記のうえ環境政策課までお寄せください。

★アンケート「エコのわ 29号」でよかった記事を教えてください。(いずれか1つ)

- ①表紙 ②-未来の豊島区をつくる-「いのちの森」 ③エコのわBOOK
 ④エコのわスタイル ⑤SDGs目標15について「陸の豊かさを守ろう」



バックナンバーはこちらからご覧いただけます。

「エコのわ」第29号 令和4年3月1日発行

発行：豊島区環境清掃部環境政策課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

電話：03-3981-2771 (直通) FAX: 03-3980-5134

メール: A0029180@city.toshima.lg.jp

制作協力：株式会社ケイエムアドシステム

掲載されている記事・写真・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。



第29号は「みどり東京」温暖化防止プロジェクトの助成事業です。

